

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

**注意**

- 反り、変形等防止のため、直射日光に当たった状態で放置したり、高温にならないようにしてください。
- 樹脂は割れたり、傷ついたりしやすいため、乱暴に扱わないでください。
- 樹脂をハンマー等で直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 保管・輸送の際は、直接荷重がかからないようご配慮ください。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤溶液を使用し、有機溶剤のご使用は避けてください。

**お願い**

- 商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
- 商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
- 商品の組立・取付の際は所定のねじを使用して適正なトルクで締め付けてください。また、ねじを締めすぎると樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれの無いことを確認してください。取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮させることができません。
- 取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックをお施主様にお渡しください。

**変更** 束部材を変更しました。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

本説明書は「補強ふかし枠 補強部品 - 束」の組立・施工について説明しています。ふかし枠本体の組立・施工説明書を併せてご参照ください。

**シーリングは必ず実施してください！**

「シーリングマーク」で表示している箇所のシーリングは必ず行ってください。シーリングがされないと、小口で切創するなどの事故につながるおそれがあります。

**注意**

組立・取付時、電動ドライバー・エアードライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。  
**2.0~2.5N・m (20~25kgf・cm) 程度**

**同梱部材一覧**

姿 図	
品 名	束部材
品 番	2K-82728
本 数	1
色	F材(表面処理なし)
姿 図	
品 名	束カバー
品 番	PK-51440
本 数	2
色	ホワイト

**同梱部品一覧**

番号	①	②	③	④	⑤	⑥
姿 図						
品 名	ブラケット(上)	ブラケット(下)	薄バインドドリルねじ (φ4×13)	薄バインド木ねじ (φ3.8×20)	皿ドリルねじ (φ4×19)	型紙(上)
品 番	3K-12562	3K-12561	4K-18375	WS-3820	K-15755	3K-40340
個 数	1	1	5	5	6	1
使用箇所	束取付用	束取付用	ブラケット(上)取付用	ブラケット(下)取付用	束取付用	ブラケット(上)取付用

**1. 束の本数確認**

W寸法に応じた束の必要本数を確認してください。

W	束必要本数
200 ≤ W ≤ 420	1
420 < W ≤ 1100	2
1100 < W ≤ 1850	3
1850 < W ≤ 2600	4
2600 < W ≤ 3350	5
3350 < W ≤ 4100	6
4100 < W ≤ 4850	7
4850 < W ≤ 5000	8

**注意**

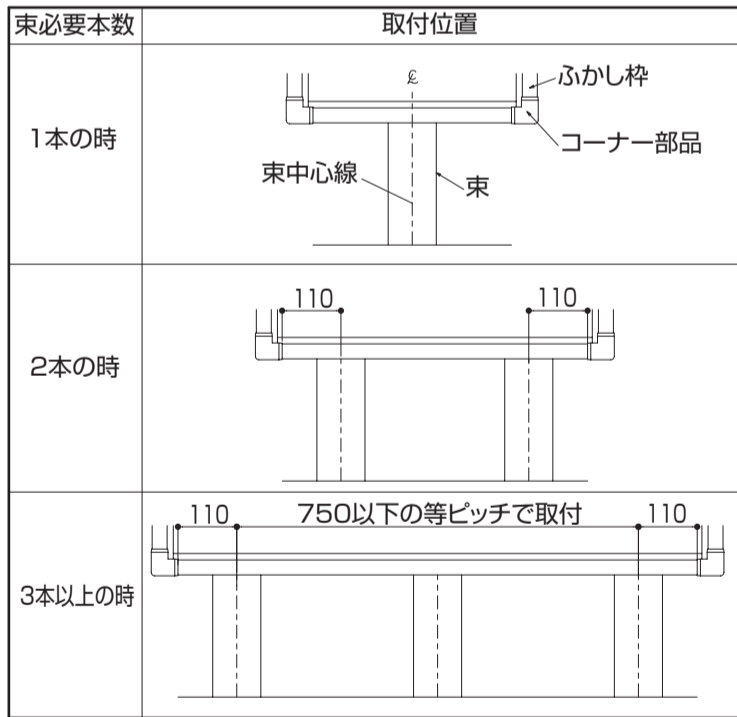
必要本数の束で必ず補強してください。束の本数が不足している場合、障子の脱落の可能性があります。

**2. ブラケット(上)の位置決め**

束の取付位置を確認し、ブラケット(上)の取付位置をけがいてください。

**① 左右方向の位置決め**

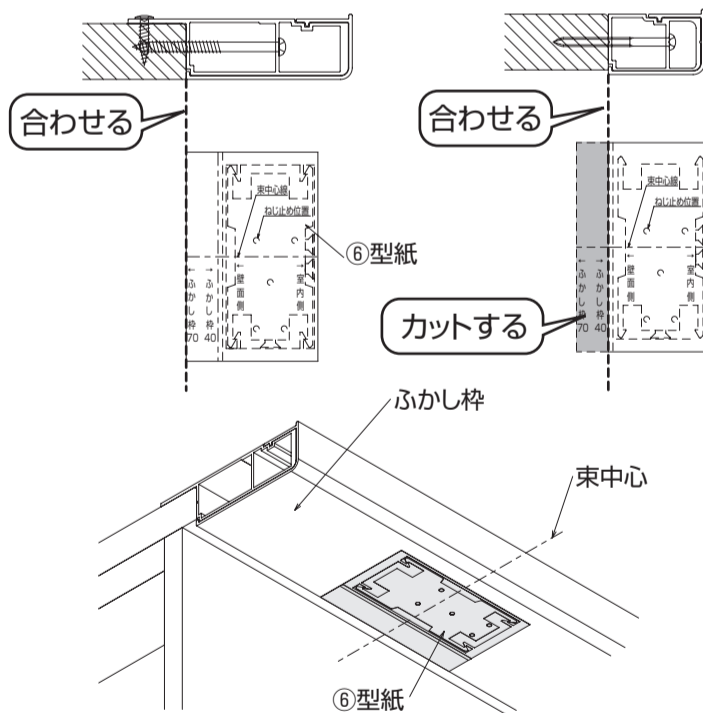
束中心線と型紙の束中心線を合わせてください。



**② 出入り方向の位置決め**

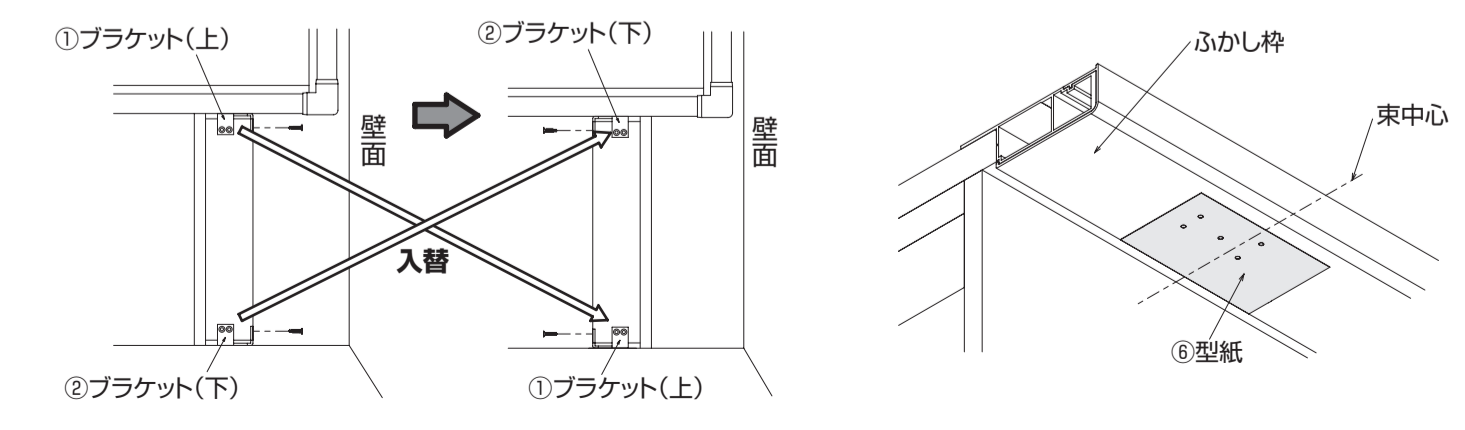
ふかし枠の壁面側の面と型紙の壁面側の面を合わせて、ねじ止め位置をけがいてください。

<ふかし枠70の場合> <ふかし枠40の場合>



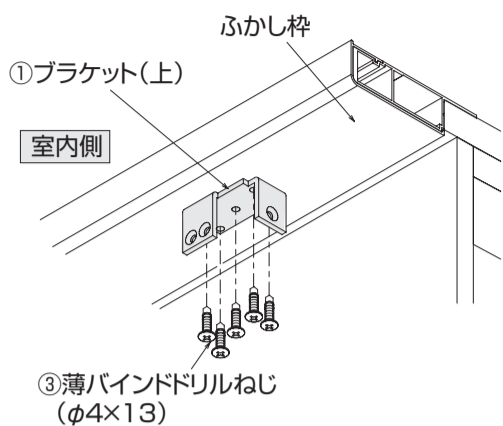
**右側面から束固定用のねじ止めできない場合**

入り隅などの場合で、右側面から束固定用のねじ止めが出来ない時があります。その時は型紙を裏返してブラケットの位置決めを行い、上下のブラケットを逆に取付けて施工してください。



### 3. ブラケット(上)の取付

けがき位置にブラケットの穴を合わせ、ブラケット(上)を取付けてください。



#### ポイント

- ブラケットの向きを確認してください。  
①ブラケット(上)  
室内側  
2つ穴ヒレ部：室内側  
1つ穴ヒレ部：室内側から見て右側  
室内側  
②ブラケット(下)
- 束を2本以上取付ける場合は、左側の束から取付けると作業しやすいです。

### 4. 壁面側束カバーの取付

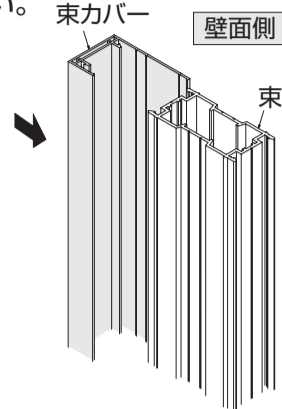
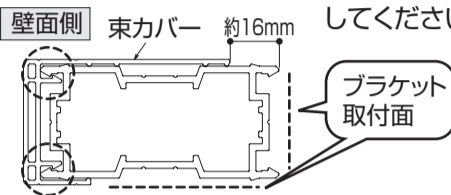
束カバーを取付けてください。

束カバーが束に対して、両端均等に余るように取付けてください。

束カバーを取付けた面を壁面側にしてください。

#### ポイント

- ブラケット取付面に束カバーが掛からないよう束カバーの向きに注意してください。
- 奥まで束カバーが入っていることを確認してください。

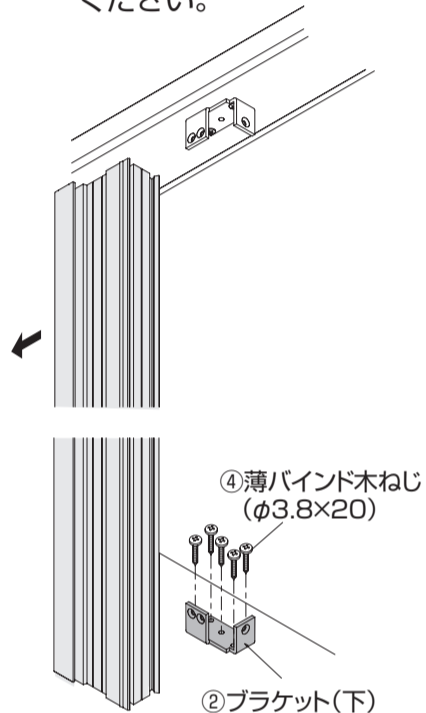
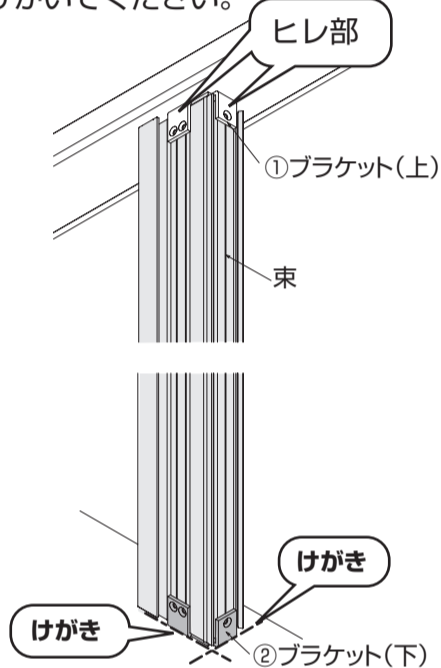


### 5. ブラケット(下)の位置決め・取付

①束の上端部をブラケット(上)のヒレ部に押当ててください。

②束の下端部に合わせてブラケット(下)を仮置きして、けがいてください。

③束を一旦はずし、ブラケット(下)をねじ止めしてください。

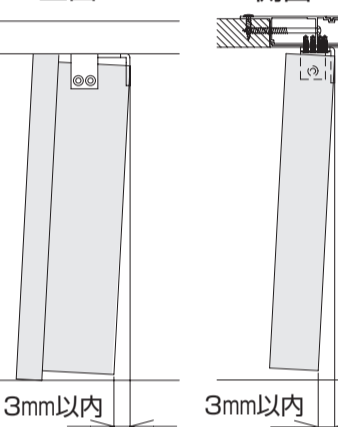


#### 注意

束の傾きは3mm以内にしてください。

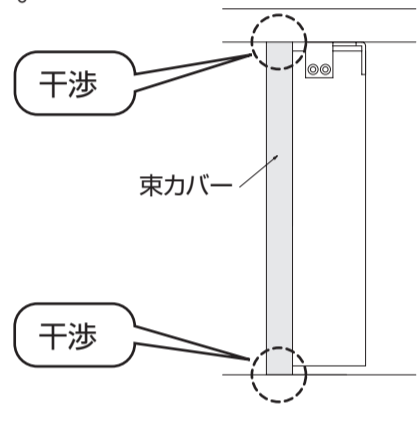
<正面>

<側面>



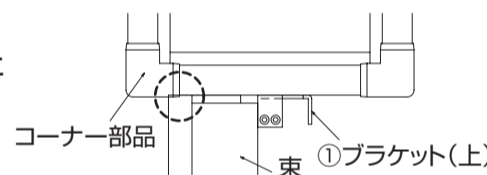
#### 束カバーが干渉する場合

現場の額縁の状態によっては、束カバーの上下端部が干渉して入らない場合があります。その場合は、束カバーを切詰めしてください。



#### W<250の場合

施工時に束がふかし枠のコーナー部品と干渉します。束の取付け終了後にコーナー部品を取付けてください。

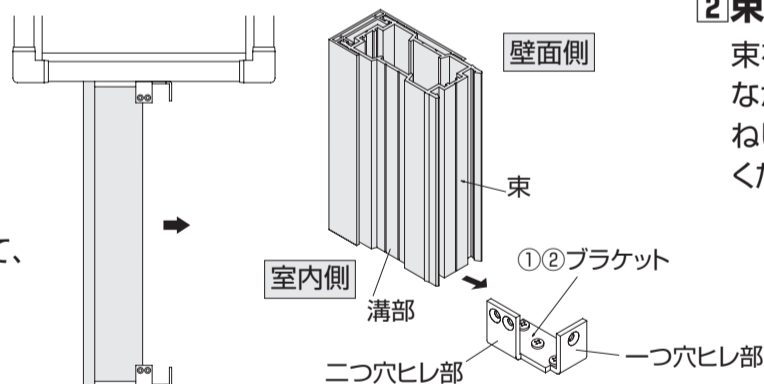


### 6. 束の取付

#### ①束の取付

①束カバー取付面を確認し、束を図の位置に配置してください。

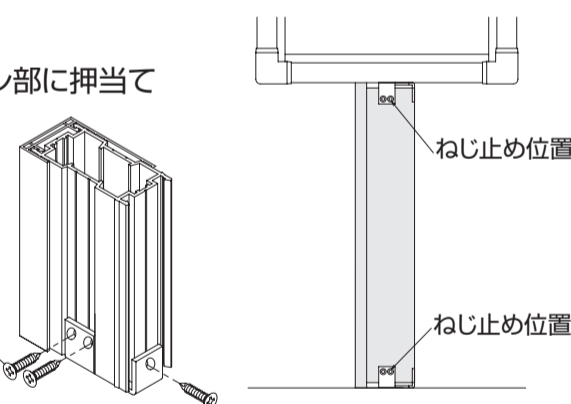
②図の矢印の方向へスライドさせ、ブラケットに一つ穴ヒレ部に押当てながら、室内側に引き寄せて、ブラケットの二つ穴ヒレ部を束の溝部へはめ込んでください。



#### ②束のねじ止め

束をブラケットのヒレ部に押当てながら、上下両端のねじ止めをしてください。

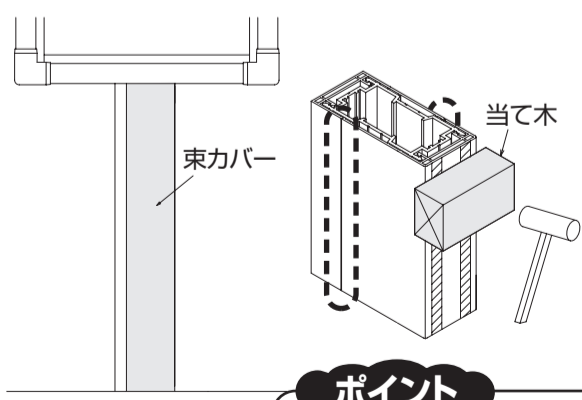
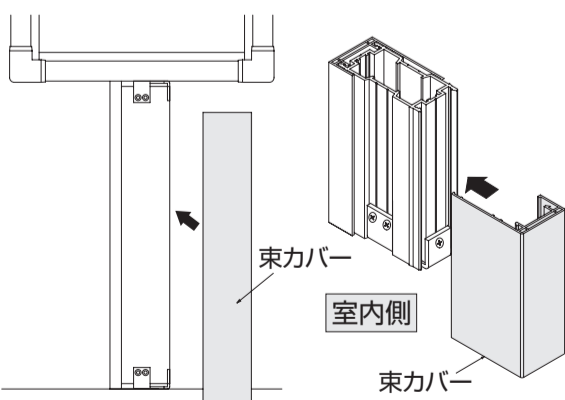
⑤皿ドリルねじ (φ4×19) 上下各3本



### 7. 室内側束カバーの取付

①室内側束カバーを図の向きに従い取付けてください。

②カバーに当て木をあて、端部から図の斜線部を木ハンマー等でたたき込んでください。



#### ポイント

図の斜線部をたたくことで、引っ掛かり部分がはめ込まれます。○部にすき間がないようにたたき込んでください。

#### 注意

樹脂部をハンマー等で直接たたかないでください。樹脂部が割れるおそれがあります。

#### ふかし枠40の場合

室内側束カバーの小口が露出します。シーリング材、メンテチューブなどで小口をふさいでください。

	シーリング材	メンテチューブ
姿図		
記号	□QYA SE-5400 □QYA SE-5410	TY K-44578□-1E

●シーリング材、メンテチューブの詳細はプラマードU単品カタログを参照してください。

